

荻原学長告辞

森ノ宮医療大学・森ノ宮医療大学大学院へのご入学、誠におめでとうございます。在学生・教職員一同、心より歓迎いたします。そして、保護者の皆様、ご家族の方々におかれましても、お祝いを申し上げたいと思います。また、本日の入学式挙行にあたり、御来賓の皆様におかれましては、平素の当大学に対する御指導・御支援に感謝申し上げるとともに本日の御臨席まことにありがとうございます。

森ノ宮医療大学は、長い歴史を有する森ノ宮医療学園を母体として、平成19年に鍼灸学科・理学療法学科を擁する医療大学として開設されました。そして、平成23年からは看護学科が新設され、この3月に看護学科第一期生、初めての卒業生を無事輩出したところでございます。このように、本学は、今年度が開学9年目にあたる、まだまだ若い大学です。しかし、これまでの八年間、「臨床に優れ、かつ豊かな人間性に裏打ちされた医療人を育成する」という建学の精神のもと、教職員一丸となって教育・研究を発展させてまいりました。さらに来年度は作業療法学科・臨床検査学科の新設及び新校舎の新築を予定しており、医療分野に特化した、まさに“総合医療大学”へと着実に進化しつつあります。このように本学は多様な医療職種を育成する学科と研究科を擁する総合医療大学です。

チーム医療の重要性が指摘される現代医療において患者と最も深く接し、医療現場における要とも言うべき「看護師」・・・疾患や老化のために衰えた運動能力を維持・向上させ、寝たきりを防ぎ、患者の生活の質を保つ上で極めて重要な位置を占める「理学療法士」・・・そして、プライマリーケア・緩和ケア・補完代替医療の分野で従来の西洋医学とは異なる特徴を持ち、統合医療の分野で注目を集める「鍼灸師」・・・

そしてまた、より深い医学研究を展開する大学院・・・本学では、これら各分野でさまざまな専門知識育てる教育環境が整っています。

さらには、伝統医学と現代医学の両医学の学びなど、学科の垣根を越えた横断的・総合的な医療教育システム・・・これは他に類をみない本学の大きな特徴であり、広い視野を持つ高度な医療技術を有する臨床能力の高い教員が確保されており、確かな知識と技術を学ぶことができます。そして、総合医療大学であるが故に、職種の垣根を越えた広い視野を持つことができ、学科の枠を超えたカリキュラムで実践的なチーム医療を学ぶことができます。また、地域の中核病院を中心とした多様な連携病院・実習病院を豊富に確保しているのも、本学の大きな特徴です。病院実習では実践力を身につけるとともに、医療の奥深さ、重要性、そして魅力をいっそう実感できることと思います。まさに、建学の精神である「臨床に優れた医療人」を育てる教育環境が整っています。そして、優れた一般教養教育がそこに加わり、医療人・社会人の基盤とも言うべき豊かな人間性が育まれることでしょう。

医療人を志し、見事、本学に入学された皆様は、今ようやくスタートラインに立つことができました。喜びと希望に満ち溢れていることと思いますが、スタートラインに立った今こそ、改めて、医療人がいかにあるべきかを、考えて頂きたい。医学的知識、医療技術の習得はもちろんです。しかし、最も重要な基盤は、“命を慈しみ他者へ奉仕する精神”であろうと思います。古今東西を問わず、時代が異なろうとも、文化が異なろうとも、この基盤は共通しています。

江戸時代の蘭学者、医師であり、大阪北浜にある適塾の開祖、緒方洪庵はその著書にこう記載しています。

「医の世に生活するは人の為のみ、おのれがためにあらず」・・・すなわち、医療はすべからく人のためのものである。そして「ただ、おのれを捨てて人を救わんことを願うべし」・私利私欲ではなく、奉仕することこそが本質であるということです。

ナイチンゲールはこう言っています。「医療人は天職である・神の導きによる敬虔な職業である」・・・医療職は自らの利益のためであってはならないということです。

本大学で学ぶ医学知識・医療技術・一般教養を通じて、科学的思考を育むとともに人間性を深め、命によりそい、他者への奉仕の精神を持つ、品位ある医療人を目指していただきたいと願ってやみません。

さて、そのような医療人を目指し、これから貴重で有意義な大学生活を送ることになる皆様に贈りたい言葉があります。

「一日世にあれば、一日為すあり」これは、幕末の思想家であり教育者でもあった吉田松陰の言葉です。松陰は松下村塾を開き、のちの明治維新につながる多くの志士を育てました。

「一日世にあれば、一日為すあり」

我々の人生は短い。一日も無駄にはできない。この世に一日長くいれば、その一日で何かを為すことができる。すなわち、今日一日を大切にすることからすべてが始まるということです。

これからの4年間はあっという間です。非常に多くのことを学ばなければなりません。そして勉強だけでなく、学友と青春を謳歌することも豊かな人間性を育むでしょう。立ち止まって、無駄に過ごしている暇はありません。一日も無駄にはできません。一日一日を大切に有意義な大学生活を送って頂きたいと思います。その積み重ねが皆様を立派な医療人・社会人に育ててくれるはずです。教職員一同も最大限の応援を致します。そして、本日、出席されている保護者の皆様、ご家族の皆様にもどうかご協力もお願いしたいと思います。四年後、大きく成長した皆様に卒業式でお会いできることを楽しみにしております。本日は誠にありがとうございます。